

平成23年度

決算報告書

国立大学法人 鳴門教育大学

平成23年度 決算報告書

国立大学法人鳴門教育大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	3,570	3,570	0	
施設整備費補助金	53	53	-	
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	-	-	-	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	25	25	-	
自己収入	747	780	33	
授業料、入学料及び検定料収入	662	683	21	(注1)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	85	97	12	(注2)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	135	160	25	(注3)
引当金取崩	-	-	-	
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	-	-	-	
計	4,530	4,588	58	
支出				
業務費	4,317	4,131	△ 186	(注4)
教育研究経費	4,317	4,131	△ 186	
診療経費	-	-	-	
施設整備費	78	78	-	
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	-	-	-	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	135	152	17	(注5)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	-	-	-	
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	4,530	4,361	△ 169	
収入-支出	-	227	227	

○予算と決算の差異について

(注1) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として、大学院での入学料収入及び学校教育学部での検定料収入が増加したため、予算額に比して決算額が21百万円多額となっています。

(注2) 雑収入については、主として、科学研究費補助金間接経費の受入及び財産貸付料収入が増加したため、予算額に比して決算額が12百万円多額となっています。

(注3) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として、予算段階で予定していた以上の国からの受託研究・受託事業の獲得に努めたこと、附属小学校教育の振興・充実のための寄附金が増加したこと等により、予算額に比して決算額が25百万円多額となっています。

(注4) 業務費については、主として、運営費交付金を財源とする業務達成基準適用の事業を採択し、この予算を翌年度へ繰越すこととしたため、予算額に比して決算額が186百万円少額となっています。

(注5) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が17百万円多額となっています。また、決算額152百万円には、前年度以前における寄附金の繰越額を当年度に執行した金額8百万円を含んでおります。